

# 平成30年度 (案) 古賀市立歴史資料館要覧



第1回  
装飾古墳の模様を描いてオリジナルの貫頭衣をつくり  
ました



第2回  
作った土器に縄や貝殻で模様をつけました



第3回  
国史跡「船原古墳」など  
市内の史跡を巡りました



第4回  
昔の人はどうやって料理をしたのか実際に体験してみました

◆平成29年度に発足した子ども考古学部の様子◆

古賀市教育委員会 文化課

# 目 次

1. 歴史資料館の沿革	1
2. 歴史資料館の活動目標	4
3. 平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画	5
4. 歴史資料館利用状況	10
5. 歴史資料館事業	11

# 1. 歴史資料館の沿革

昭和 47 年、日本住宅公団による花鶴丘団地の開発を機に鹿部山を中心に数多くの遺跡の存在が確認され、同年古賀町文化財研究会が発足し、福岡県教育委員会、九州大学文学部考古学研究室と合同で鹿部山遺跡発掘調査を行いました。この調査を契機に古賀町の文化財への関心が高まり、その後、古賀町文化財研究会は町内の研究者を委員とした古賀町文化財調査委員会として長く活動を続け、平成 15 年には古賀市文化財保護審議会へ発展しました。

古賀町は昭和 30 年に、旧古賀町、青柳村、小野村の一町二村が合併して誕生しました。合併 30 周年記念事業の一環として、古賀町誌の発行が企画され、昭和 57 年に古賀町文化財調査委員会が編纂委員となって編纂が開始され、昭和 60 年に古賀町誌を発行しました。これを契機に郷土誌（史）研究が広がり、昭和 60 年から歴史講座を開講しました。こうした郷土の歴史文化財の関心の高まりが、平成 6 年の歴史資料館開館の機運を導きました。

年号	年	月	事	跡
平成	4	8	古賀町複合文化施設建設検討委員会発足	
	6	11	複合文化施設サンフレアこが（2 階）に歴史資料館開館	
	8	4	初代館長 安武 敏夫 就任	
		9	企画展「くらしック民具展」	
	9	8	企画展「旧石器時代展」	
		10	企画展 古賀市市制施行記念「江戸時代展」	
	10	2	企画展「ふるさとの仏像展」	
		4	永浦古墳群発掘調査（ <small>ながうら</small> 甲冑 <small>かつちゆう</small> 他出土遺物一括平成 17 年に県指定文化財）	
		8	企画展「ふるさとの道と文化」	
	11	2	企画展「こがの近代工業のあゆみ」	
		3	企画展「滑石は語る」	
		8	企画展「海辺のおくりもの～玄界からのメッセージ～」	
	12	1	企画展「古賀の絵馬 神に託したふるさとの心」	
		4	第 2 代館長 石井 忠 就任	
		8	企画展「みる きく ふれる考古学」	
			<small>ししぶたぶち</small> 鹿部田淵遺跡発掘調査で大型建物群跡確認（平成 21 年県指定史跡）	
		9	企画展「唐津街道の宿場 今よみがえる青柳宿」	
	13	6	<small>うまわたり</small> 馬渡・ <small>そくがうら</small> 東ヶ浦遺跡発掘調査（青銅武器一括平成 20 年県指定文化財）	
			広報こが「海からのメッセージ」の連載開始	
		8	企画展「蔓の波一葉王寺廃寺と古賀の瓦業」	
			博物館実習受け入れ開始	

年号	年	月	事	跡
平成	14	7	企画展「剥製動物園 里山の動物」	
		10	糟屋地区文化財巡回展「発見！かすや」	
		11	漂着物学会福岡大会（第2回全国大会） 漂着物特別展開催	
	15	5	歴史講座を自然史・歴史講座と改称し、年間受講制とする	
		8	企画展「古賀のむかし 鹿部山遺跡から馬渡・東ヶ浦遺跡まで発掘30年」	
	16	9	古賀市文化財保護審議会が発足し、会長に西谷 正 九大名誉教授 就任	
		1	糟屋地区文化財巡回展「なつかしのオモチャ展」	
		7	企画展「シーカヤックをつくる 黒潮の果て 極北民族の技(アリュートの皮船)」	
	17	11	第19回国民文化祭ふくおか2004 とびうめ国文祭 in 古賀開催「風と潮のロマンス 対馬暖流漂着ものがたり」	
		4	古賀市市制施行10周年記念誌編纂開始	
		10	企画展 九州国立博物館開館記念協賛「甲冑に身を固め、頭椎大刀を佩いた人たち」	
	18	1	糟屋地区文化財巡回展「糟屋の古墳」	
		7	企画展「稲作に勤しむ」	
	19	7	企画展「古代幻想－小林恒火子の世界－願いかなえたまえ」	
		11	古賀市市制施行10周年記念誌『古賀市うるわし』刊行 古賀市市制施行10周年記念企画展「版画で歩く唐津街道」	
	20	7	企画展「仮面の告白 お面にこめられた喜怒哀楽」	
	21	7	古賀市複合文化施設運営協議会設置	
		8	企画展「郷土への眼差し－先人たちの足跡－」	
		9	複合文化施設2階フロア－入館者総数20万人突破 企画展臨時企画展「胡蝶乱舞 一つのを追いかけて」	
	22	11	企画展『『百のうた千の想い 甦る平和百人一首』原画展」	
		7	福岡県緊急雇用対策事業 古賀市教育委員会所蔵民具整理台帳作成業務開始 企画展「古銭への誘い」	
		11	鹿部田渕遺跡が整備され、古賀市で初めての史跡公園「みやけ史跡公園」が開園 企画展「甦る鹿部田渕遺跡の時代」	
	23	3	福岡県緊急雇用対策事業 古賀市教育委員会所蔵民具整理台帳作成業務完了	
		4	自然史・歴史講座の通年受講制を廃止。毎回参加者を募集し、開催日を原則土・日曜日と改める	
		7	企画展「寄贈物譚」	

年号	年	月	事	跡	
平成	23	8	福岡県緊急雇用対策事業	古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務開始	
		11	企画展「木村辰也の邪馬台国版画展」		
	24	3	福岡県緊急雇用対策事業	古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務完了	
		7	企画展「キノコの博物誌」		
		11	企画展「赤星孝生誕 100 年展」		
		25	2	個人所蔵古文書等資料デジタル化業務開始	個人所蔵古文書等資料デジタル化業務完了
	4		第3代館長 村山 美婦子 就任		
	5		福岡県緊急雇用対策事業	古賀市教育委員会所蔵古文書の保存・後世伝承業務開始	
	7		企画展「石碑のつぶやき」		
	11		福岡県緊急雇用対策事業	古賀市教育委員会所蔵古文書の保存・後世伝承業務完了	
	26		7	企画展「ゴジラを支えたデザイナー『特撮美術監督 井上泰幸展』	
		11	開館 20 周年記念特別展『企画展を振り返る』 時を超え、そして未来へ」		
		27	2	古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務開始	
	3		古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務完了		
	7		企画展「昔話と道具たち」		
	12		古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務開始		
	28	2	古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務完了		
		4	第4代館長 木村 眞由美 就任		
		7	「古賀市複合文化施設サンフレアこが 市立歴史資料館」の名称廃止 〔古賀市複合文化施設条例廃止〕 古賀市複合文化施設運営協議会の廃止 〔古賀市複合文化施設運営協議会設置規則廃止〕		
		8	「古賀市生涯学習センター(通称：リーパスプラザこが)市立歴史資料館」へ名称変更〔古賀市生涯学習センター条例施行〕		
		10	船原古墳国史跡指定		
		11	国史跡指定記念企画展「船原古墳展」		
		29	7	企画展「海からのメッセージ」	
			9	子ども考古学部発足	
	30	3	平成 29 年度国史跡船原古墳速報展「今 よみがえる馬具の輝き」		

## 2. 歴史資料館の活動目標

### 歴史資料館の運営方針

- (1) 古賀の歴史がわかる重要な資料・遺物は常設展示とし、分かりやすい展示に努める。
- (2) 企画展、自然史・歴史講座などを開催し、市民の自然・歴史に対する理解や関心を深める。
- (3) 日常的に情報を発信するとともに、展示ケースを使用した小規模展示などで、市民に積極的に利用される資料館づくりを行う。
- (4) 考古、歴史、民俗、博物学など幅広い展示を行い、市民に学習機会の提供を行う。

### 平成30年度の目標

- (1) 郷土古賀の歴史を学習する自然史・歴史講座を年5講座（市民対象：4講座・子ども対象：1講座）開催し、講演会、体験学習及び史跡・社寺等に出向いての現地学習などを行い、参加者の歴史への興味を高めるとともに、郷土古賀のよさを知ってもらう機会とする。
- (2) 小学生を対象に「子ども考古学部」を年4回実施し、古代の体験や文化財係職員の話を通じて、大昔の人々の生活を学ぶことができるようにする。
- (3) 国史跡船原古墳に関しては、古賀市ホームページやフェイスブック、最新情報のパネル展などを実施し、市内外への情報発信に努める。また自然史・歴史講座では講演会を開催し、広く市民の関心を高めていく。
- (4) 古文書、民具、昔の写真など郷土に関わる資料の収集を行うとともに、地域の高齢者から昔の生活の様子などの聞き取りを行い、それらの整理・保存に努める。
- (5) れきしのアルバム No42「養徳山」を発行する。

### 3. 平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度事業計画

#### (1) 平成 29 年度事業報告

##### 《自然史・歴史講座、企画展》

事業名・講師等		開催日	参加者数	内容〔開催場所〕
第1回自然史・歴史講座【現地学習】「見る！聞く！九州歴史資料館見学」		6月4日(日)	33人	船原古墳出土馬具の最新情報の講演、九州歴史資料館バックヤードツアー、パネル展〔九州歴史資料館〕
第2回自然史・歴史講座 【講演】「戦国時代の薦野氏と米多比氏」 講師：桑田和明氏 古賀市文化財保護審議会委員		7月1日(土)	126人	古賀の武将、薦野氏と米多比氏の歴史〔歴史資料館 中会議室〕
第3回自然史・歴史講座 【体験型学習】「船原古墳と馬具のヒミツ」〔全3回〕		8月18日(金) 午前 8月20日(日) 午前 午後	小学生22人 (保護者9人) (未就学1人)	船原古墳の解説・「鳳凰文心葉形杏葉」の石膏作り・色付け〔歴史資料館 中会議室〕
第4回自然史・歴史講座 【現地学習】「歴史ウォーク in 秋月」		12月1日(金)	40人	江戸時代黒田長政の子長興を藩祖に城下町の面影を残す秋月の歴史を観光案内ボランティアとめぐる。〔朝倉市秋月〕
第5回自然史・歴史講座 【現地学習】「古墳探訪～船原古墳と世界遺産関連史跡をめぐる～」		3月22日(木)	37人	船原古墳・新原・奴山古墳群・宗像大社神宝館・福津市歴史資料館 他〔古賀市内、宗像市、福津市〕
自然史・歴史講座 合計			258人	
企 画 展	展示「海からのメッセージ」	7月25日(火)～ 8月31日(木)	1,957人	・石井前館長の収集物展示(漂着物) ・古賀の海に関する歴史パネル展示 ・フォトコンテスト(私が残したいふるさと古賀の海)(小・中学生)作品数49点 ・海からの贈り物制作(フォトフレーム他)
	記念講演「太平洋戦争、忘れ去られた計画～玄界灘沿岸の戦争遺跡～」 講師：花田勝広氏 (滋賀県野洲市教育委員会)	8月11日 (金・祝)	69人	太平洋戦争末期における玄界灘沿岸部の軍事情勢を、防衛省防衛研究所所蔵戦史資料をもとに講演〔歴史資料館 中会議室〕
船 原 古 墳 最 新 情 報	「辻金具出土品初公開」	4月25日(火)～ 6月18日(日)	1,876人	
	「今よみがえる馬具の輝き」	3月29日(木)～ 5月23日(水)	1,444人 ※平成30年度入館者数含む	平成29年度に行った出土品整理の成果及びCTスキャナ等の最新技術を用いた調査手法「船原方式」の紹介〔歴史資料館〕
合 計			5,604人	



## 《資料館展示》

資料館展示室 の展示	歴史資料館展示室の展示資料について大幅な見直し・入替えを行うとともに、キャプション（説明文・名札）についても、文字を大きくし、ふりがなを振るなど、市民に解りやすい表示にした。また、小学3年生「変わってきた人々の暮らし」の学習に合わせて展示物を工夫した。
---------------	--

## 《その他 小・中学生対象事業》

事業名	期間	参加人数 (延べ)	内容
夏休み 歴史資料館れきし体験パスポート	7月25日(火) ～8月31日(木)	310人	小中学生を対象とした 体験型学習。古賀の郷 土歴史に理解を深め、 楽しく学習できるよう に工夫している。 ・昔の遊びコーナー ・歴史クイズ ・歴史パズル 他
冬休み 歴史資料館れきし体験パスポート	12月21日(木) ～1月8日(月)	86人	
春休み 歴史資料館れきし体験パスポート	3月24日(土) ～4月8日(日)	98人	
れきし体験パスポート合計		494人	
第1回 子ども考古学部	10月28日(土)	15人	貫頭衣を作ろう
第2回 子ども考古学部	11月25日(土)	14人	土器を作ろう
第3回 子ども考古学部	12月23日(土)	15人	船原古墳を探索しよう
第4回 子ども考古学部	1月27日(土)	14人	古代食を作ろう
子ども考古学部合計		58人	
ナイトミュージアム&ライブラリー	2月10日(土)	49人	歴史資料館、図書館を 探検



## 《通年の活動》

### ○広報業務

- ・平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで「広報こが」に歴史資料館展示室の展示内容や企画展、自然史・歴史講座、子ども考古学部などのお知らせを掲載した。
- ・自然史・歴史講座の講演会及び企画展については、チラシ配布や市内公共施設などにポスターを掲示した。またホームページやフェイスブックなどによる周知を図った。
- ・子どもに関する事業は、歴史資料館の来館者への案内や市内校長会にて案内を行うとともに、学校を通じて対象の子どもたちにチラシを配布した。また事業終了後には歴史資料館に事業の様をパネルにて展示し、あわせてフェイスブックで紹介を行った。

### ○教育普及業務

児童・生徒の教科学習や就業体験、一般団体の見学を受入れた。

小学校教科学習・見学受入れ	6 校	市内の小学校 6 校〔うち 2 校は 2 学年〕
特別支援学校受入れ	1 校	常設展
中学校見学受入れ	1 校	施設見学
中学生ドリームステージ受入れ	1 校	中学生の職場体験
一般団体見学	3 団体	

計 1,334 人受入れ

### ○刊行物

- ・れきしのアルバムNo.41「船原古墳」新版 3,000 部
- ・れきしのアルバムNo.20「鹿部田淵遺跡」改訂版 1,000 部

### ○所蔵資料整理業務

- ・谷山地区の古地図について、後世継承のためデジタル化を行った。

### ○資料収集整理活動

平成 29 年度の寄贈は 5 件（全 538 点）

- ・腕用消防ポンプ
- ・龍拍水
- ・分銅（台秤用）
- ・たばこ盆
- ・屏風
- ・教科書 他



腕用消防ポンプ

このほか昔から地域で行われてきた祭や行事、産業、生活の様子など古賀の歴史に関する事項について、その地域の高齢者などに話を聞いて、記録に残した。

## (2) 平成30年度事業計画

### 《自然史歴史講座・企画展・資料館展示》

事業名・講師等	開催予定日	内 容 (仮題)	場所 (予定)
第1回自然史・歴史講座 【講演】 講師：小林啓氏（九州歴史資料館学芸員調査室） 甲斐孝司（古賀市文化財係職員）	5月13日（日）	第1部 「船原古墳最新情報 2018～今明かされる豪華馬具の高度な技術力」 第2部 「古代馬の模型作成について」	歴史資料館 中会議室
第2回自然史・歴史講座 【講演】 講師：守友隆氏（北九州市立自然史・歴史博物館学芸員）	8月18日（土）	「幕末の古賀～青柳宿を往来した人々」	歴史資料館 中会議室
第3回自然史・歴史講座 【体験学習】 〔全3回〕	8月23日（木） 午前 8月24日（金） 午前・午後	「夏休み子ども歴史講座 ～船原古墳と馬具のヒミツ～」 対象：小・中学生（1回10人程度） 船原古墳の解説・「鳳凰文心葉形杏葉」の石膏作り・色付け	歴史資料館 中会議室
子ども考古学部 第1回 第2回 第3回 第4回	10月20日（土） 11月24日（土） 12月15日（土） 1月19日（土）	「古代の人の生活を体験しよう」 対象：小学生（15人程度） ※全回同じメンバーによる活動	歴史資料館 中会議室 他
第4回自然史・歴史講座 【現地学習】太宰府市内	10月25日（木）	「維新の前哨地 太宰府で学ぶ」	九州国立博物館 太宰府天満宮宝物殿 他
第5回自然史・歴史講座 【現地学習】福岡市内 ガイド：福岡市観光案内ボランティア	3月5日（火）	「幕末の青柳宿を往来した人々」	福岡市博物館 他
企 画 展	7月20日（金） ～ 8月22日（水）	「幕末の古賀～青柳宿を通った人々」	歴史資料館 ギャラリー
資料館展示 船原古墳に関する最新情報パネル展	一定期間	九州歴史資料館の調査・成果などに関する最新情報などをパネル展示	歴史資料館 展示室
資料館展示 スポット展示	年間数回	テーマを設けて一定期間展示	歴史資料館 展示室

※歴史資料館展示室にて実施する船原古墳に関する最新情報パネル展については、市の施設や市外の施設への貸し出しなどで出張展示（ミニ展示）を行い、古賀市内外に船原古墳についての情報を発信する。

## 《通年の活動》

### ○広報業務

- ・「広報こが」に歴史資料館展示室の展示内容や企画展、自然史・歴史講座のお知らせなどを掲載する。
- ・自然史・歴史講座の講演会及び企画展については、市内公共施設などにポスター掲示、チラシ配布を行い、ホームページやフェイスブックによる周知を図る。
- ・子どもに関する事業は、市内校長会にて別途案内を行う。

### ○職員研修

- ・近隣の歴史資料館などを視察見学し、県主催研修等に参加する。

### ○教育普及業務

児童・生徒の教科学習や就業体験、一般団体見学などの受入を行う。

- ・小・中学校の社会科・総合的な学習や一般団体の見学受入れ
- ・市内中学校の職業体験「ドリームステージ」受入れ
- ・高等学校の就業体験「インターンシップ」受入れ

### ○データ・刊行物

- ・企画展来館者配布用「パンフレット」
- ・れきしのアルバム

### ○所蔵資料整理業務

古賀市教育委員会又は個人所蔵の古文書について、後世継承のためデジタル化を行い、保存に努める。

### ○資料収集整理活動

- ・民俗資料などの寄贈を受けた場合に、資料の性質を見極めて受入れを行う。
- ・昔から地域で行われてきた祭や行事、産業、生活の様子など古賀の歴史に関する事項について、その地域の高齢者などに話を聞く。
- ・個人所蔵の古文書類の確認作業などを行い、郷土史料（資料）として保存できるよう情報収集・整理を行う。

## 4. 歴史資料館の利用状況

### (1) 開館日数及び来館者数

月	開館日数	来館者数
4月	25日	554人
5月	25日	1,131人
6月	25日	723人
7月	20日	607人
8月	26日	1,216人
9月	22日	492人
10月	25日	936人
11月	25日	849人
12月	23日	515人
1月	23日	814人
2月	23日	1,125人
3月	19日	759人
合計	281日	9,721人
月平均		810人
日平均		35人

## 5. 歴史資料館事業

### (1) 企画展

企画展「海からのメッセージ」

(石井忠前館長がご逝去されたため、その業績を伝える)

会 期：平成 29 年 7 月 25 日 (火) ～ 8 月 31 日 (木) 33 日間

会 場：古賀市立歴史資料館 ギャラリー

来館者数：1,957 人

#### 【展示】

第 1 部「石井忠 漂着物の世界」「石井忠氏の紹介」

第 2 部「古賀の海の歴史」(パネル展示)

第 3 部「私が残したいふるさと古賀の海」(市民の活動・児童のフォトコンテスト)

#### 【関連イベント】

① 制作「海からの贈り物」～貝殻のフォトフレームとペン立てを作ろう～

期日 8 月 5 日 (土)・6 日 (日) 14:00～16:00 参加者数 62 人

② 記念講演「太平洋戦争、忘れ去られた計画～玄海灘沿岸の戦争遺跡～」

講師 花田勝弘氏 (滋賀県野洲市教育委員会)

期日 平成 29 年 8 月 11 日 (金) 13:30～15:00 参加者数 69 人

平成 28 年 5 月にご逝去された石井忠元歴史資料館長の業績とライフワークであった漂着物の世界を中心に、古賀の海の歴史や環境について市民にもう一度見直す機会としてもらうことを目的に「石井忠 漂着物の世界」「古賀の海の歴史」「私の残したいふるさと古賀の海」の 3 部構成で展示した。また、関連イベントとして、貝殻を使った制作と玄海灘に関する記念講演を実施した。

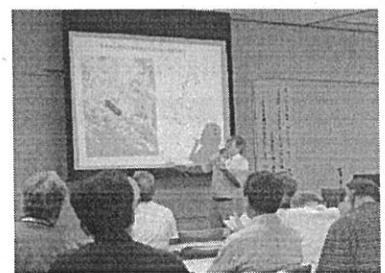
企画展は、夏休み期間でもあり子どもたちの来館が多かった。また、石井氏の関係者(漂着物学会・教え子・知人等)の来館も多数あり、熱心に見てもらうことができた。特に8月中旬に3社の新聞に記事が載ってからは、漂着物に関心のある方の来館者が増えた。



【ギャラリー展示】石井氏の著書にある代表的な漂着物を中心に展示。



【制作】紙粘土と貝殻やシーグラスを使ってデコレーション。



【講演】防衛庁で公開された最新情報をもとに、玄海灘沿岸の戦争遺跡についての講演。

## (2) 自然史・歴史講座 全5回 参加者総数 258人

### 第1回 「見る！聞く！九州歴史資料館見学」〔現地学習／バス利用〕

実施日 : 6月4日(日) 12:00~17:00

見学先 : 九州歴史資料館

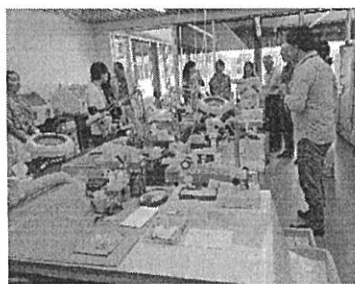
参加者数 : 33人

現在、船原古墳出土遺物は土ごと掘り上げられ、九州歴史資料館で調査、クリーニング及び保存処理が行われている。今回は市民の方に船原古墳出土遺物の最新情報を知ってもらうための講演と、実際に遺物の調査を行っているバックヤードツアーの2本立てで現地学習を実施した。

九州歴史資料館小林研究員から、「馬冑を中心とした今年度の科学的調査の成果」についての最新情報の講演後に、2班に分かれ、日ごろは入ることができないバックヤードで、修復や保存作業の様子、現在保存処理中の鳳凰文心葉形杏葉を間近に見学し、その精巧な作りや高度な技術に感動した。参加者は大変熱心に見学し、九州歴史資料館保存管理班班長である加藤研究員にも質問をするなど、船原古墳への関心が高まったと思われる。



小林研究員から馬冑、杏葉及び轡について最新内容の報告。



バックヤードで最新器機を使った調査の様子を見学。



### 第2回 自然史・歴史講座 講演会「戦国時代の薦野氏と米多比氏」

実施日 : 7月1日(土)

講師 : 桑田 和明 氏(古賀市文化財保護審議会委員)

会場 : リーパスプラザこが歴史資料館 中会議室

参加者数 : 126人

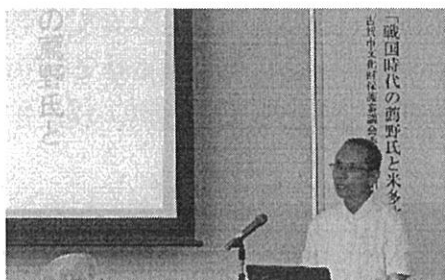
群雄割拠の戦国時代を忠義と才で生き抜き、立花家・黒田家に仕えた古賀の武将、薦野氏・米多比氏の歴史について、古賀市と宗像市の文化財保護審議会委員で中世史を専門にされている桑田氏の講演を実施した。薦野氏・米多比氏は郷土の武将であり、古賀市に地名として残っていることから、市民の興味も高いものがあった。

講演に際して、広報、チラシ、ポスターなどで啓発したが、今回は地元ということもあり、米多比区・薦野区には区長に依頼してポスターを掲示し、米多比区においては、区長より地域



に放送をして周知を図ってもらった。その成果もあり、中会議室がいっぱいになるほど多くの参加者があった。

また、柳川にお住まいの米多比鎮久の子孫の方にも連絡したところ、ご自身のルーツを知りたいとの思いから、講演会に参加された。講演会で紹介をしたところ、個人的に話に行った参加者もあり、双方とも大変喜ばれていた。



資料を基に講演する桑田氏



熱心に話を聞く参加者

### 第3回 子ども自然史・歴史講座「船原古墳と馬具のヒミツ」(全3回)

実施日 : 8月18日(金)・8月20日(日)

(8月20日は午前と午後の2回開催)

会場 : リーパスプラザこが歴史資料館 中会議室

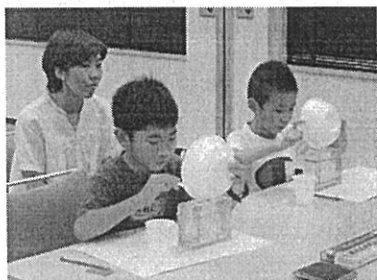
参加者数 : 22人 (小学1年生から6年生まで)

船原古墳の国史跡指定を受け、市内の子どもたちにも知ってもらうために「船原古墳と馬具のヒミツ」というテーマで講話と体験活動を実施した。今回は「鳳凰文心葉形杏葉」のシリコン型を9個作成していたため、杏葉づくりをメインの活動とした。まず石膏が固まるのに1時間程度を要するため、杏葉のシリコン型に石膏を先に流し込む活動を行った。

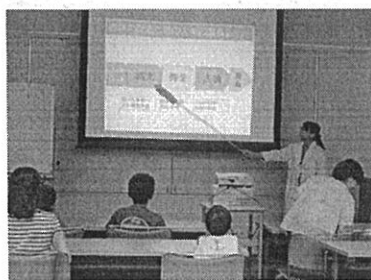
活動1は、パワーポイントを用いて、古賀市で発見された遺物とそこからわかる人々の生活、古墳とはどのようなものか、船原古墳から出土した馬具はなぜ有名なのかを説明し、資料館で展示物を見て確認した。

次に活動2として、事前に職員が作成しておいた石膏の杏葉に参加者各々のイメージで着色した。杏葉に陽刻されている鳳凰の文様を意識して塗るようにした。最後に、できあがった作品を持って写真を撮った。

歴史に興味のある子どもたちが集まったため、大変意欲的な活動をすることができた。船原古墳への知識とともに、大昔の古賀市にも有力者がいたことを学んだことで、古賀市の歴史への関心も高まったと考える。これからも歴史資料館に足を運んでくれることを期待したい。



型に石膏を流し込む。



古賀の歴史と船原古墳出土遺物について話を聞く。



石膏を型からぬく。



#### 第4回 「歴史ウォーク in 秋月」〔現地学習／バス利用〕

実施日 : 12月1日(金) 8:45~17:00

見学先 : 朝倉市秋月

参加者数 : 40人(内古賀市史跡案内ボランティア2人)(職員3人)

江戸時代に黒田長政の子長興を藩祖に、黒田5万石の城下町として栄え、今もなおその町並みを残している秋月を、現地の観光案内ボランティアとめぐることによって歴史を学び、併せて秋月に拠点を持つ秋月氏と古賀市出身の武将薦野増時や米多比鎮久間の戦いの歴史を知る機会とする事を目的に秋月への現地学習を実施した。

秋月に向かうバスの中で、古賀市史跡案内ボランティアの西野代表と飯島氏に、戦国時代の戸次鑑連、立花宗茂のころの秋月種実との戦いのことや、黒田藩入府後の秋月支藩の成り立ちについて、説明をしていただき、秋月への予備知識をもってもらった。

秋月ではA・Bの2グループに分かれた後、それぞれグループ担当の秋月観光案内ボランティアについて、午前中は杉の馬場付近(秋月博物館・秋月城址・瓦坂・長屋門・表御門(黒門)・緒方春朔記念碑)、旧田代家住宅等を見学。昼食後、午前中と同じグループで、旧田代家住宅・戸原継明生誕地・貝原東軒生誕屋敷跡・武家屋敷跡・臼井屋敷跡・古心寺・大涼寺・腹切り岩・長生寺などを、その歴史や由来を聞きながら見学した。

今回の自然史・歴史講座は、広報、ホームページ、チラシで参加者を募集した。目的地が「筑前の小京都」ということもあり、97名の申し込みがあり、市民のニーズに応じたコース選択であった。また、92%の参加者が有意義だったと答えており、「秋月の案内ボランティアさんの話が分かりやすかった。」「秋月の歴史がよく分かった。」「観光では行かないところで丁寧に説明してもらえた。」など好評だった。

当日はやや寒いものの、好天に恵まれ絶好の学習日和であったが、秋月は坂道や階段が多く、歩いた距離も長かったため、高齢の方や足に不安がある方にはやや厳しいコース設定であったように感じられた。



Aグループ担当の三坂氏より秋月城址の説明をうける参加者。



大涼寺の門:黒田長興が母親(黒田長政の正室で、徳川家から輿入れした)の3回忌に建立した寺。御堂内の内幕には徳川家の葵の御紋が残されていた。



腹切り岩:秋月種実の重臣恵利暢堯が、天正15年豊臣秀吉の九州征伐の折、秋月氏に勝ち目がないことを訴えるが聞き入れられず、この岩の上で自刃して訴えた。

## 第5回 古墳探訪～船原古墳と世界遺産関連史跡をめぐる～〔現地学習／バス利用〕

実施日 : 平成30年3月22日(金)

見学先 : 船原古墳・宗像大社神宝館・新原奴山古墳群・福津市歴史資料館他

ガイド : 宗像大社神職 福津市文化財係 井浦氏 古賀市文化財係 森下

参加者数 : 37人

船原古墳の広場が3月末に完成し一般公開ができる状態になったことと、本年度世界遺産となった宗像市、福津市の古墳関連史跡群を巡り、古墳時代の古賀市域との関連を考える機会とすることを目的として現地学習「古墳探訪」を実施した。

まず、船原古墳広場で文化財係長森下より船原古墳の概要と発掘当時の様子、埋納土坑の場所や当時の葬送儀礼について説明を行い、参加者より今後の広場整備の展望や出土遺物の朝鮮半島との関連について質問を受けた。

次に宗像大社神宝館では神職の方より、世界遺産から出土した国宝や重要文化財について詳しく説明を受け、参加者も「何度も神宝館に来たが、説明が分かり易くととても有意義だった」と好評だった。

車窓より国史跡桜京古墳を解説し、昼食をとるために「道の駅むなかた」へ向かった。

午後は、同じく車窓より勝浦峯ノ畑古墳、勝浦井ノ浦古墳を確認して、新原奴山古墳群に向かった。ここから先は、福津市史跡整備係の井浦係長に説明をうけた。新原・奴山古墳群の成り立ち、41基ある古墳のそれぞれの特徴、世界遺産登録までの苦労など実際に携わってこそ話せる内容を聞くことができた。その後、昨年9月にオープンした「福津市複合文化センター カメリアステージ 歴史資料館」で、福津市の歴史や古墳から出土した遺物を見せていただいた。最後に、手光波切不動古墳の石室内に入り、古墳の構造や古墳築造の様子、葬送儀礼などについて学ぶことができた。今回の自然史・歴史講座は、広報、ホームページ、チラシで参加者を募集した。目的地が「世界遺産関連史跡」ということもあり、56名の申し込みがあり、市民のニーズに応じたコース選択であった。また、91%の参加者が有意義だったと答えており、「船原古墳と他の古墳との比較ができ、船原古墳の歴史的意義や資産価値などを再認識することができた。」「各地で専門家に説明してもらい、見学がより一層実りあるものとなった。」「古賀市のみならず隣接の歴史を知ることができ、大変有意義な学習となった。」など好評だった。

当日は雨模様でやや寒いものの、各所で専門の方からの説明を受け、参加者が質問したり、各々の情報を交換し合ったりするなど、大変有意義な現地学習となった。参加者の歴史への興味がさらに高まったものとする。



船原古墳広場で森下係長の話を聞く参加者。



神宝館で神職の方の話を聞く参加者。



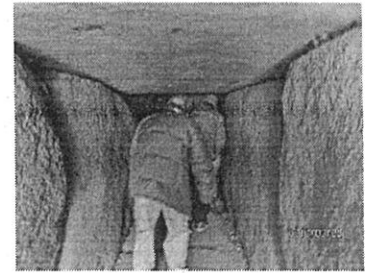
新原・奴山古墳群で井浦係長の話を聞く参加者。



説明を受けながら新原・奴山古墳群を散策。



カメラステージ歴史資料館内を見学。



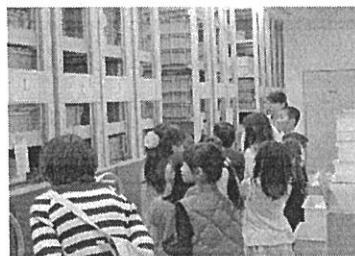
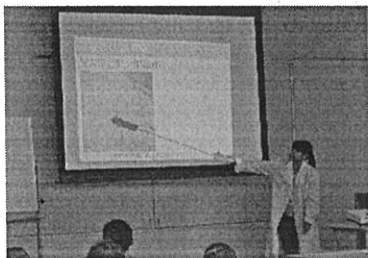
手光波切不動古墳の石室内部を見学。

### (3) 子ども考古学部 全4回 参加者総数 58人

第1回 平成29年10月28日(土)  
貫頭衣をつくろう(活動場所 中会議室)

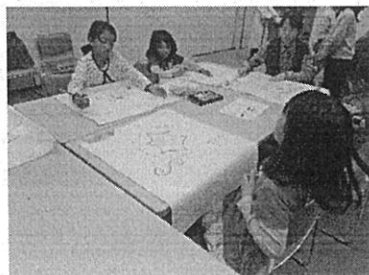
#### 1 考古学の話：考古学ってなあに？

最初の挨拶、自己紹介をした後、文化財係職員岩橋より、考古学入門編「考古学ってなあに？」という話をした。古賀市内から出土した遺跡や遺物の話、それらからどんなことがわかるかなど、低学年にもわかるように説明した。その後、歴史資料館の収蔵庫に行き、収蔵されている遺物について話を聞いた。



#### 2 古代衣装：貫頭衣を作ろう

装飾古墳に使われていた文様をつかって、貫頭衣を作った。王塚古墳のDVDを見て、当時使われていた模様を確認し、それを貫頭衣にマジックで描いていった。それぞれ、オリジナルの貫頭衣が出来上がり、グループごとに馬の前で写真撮影をした。



### 3 古代米の観察



活動終了後、資料館で育てている古代米(赤米・黒米)の観察をした。

古代米は弥生時代に日本に伝わった米である。苗を九州歴史資料館からいただいた。

## 第2回 平成29年11月25日(土)

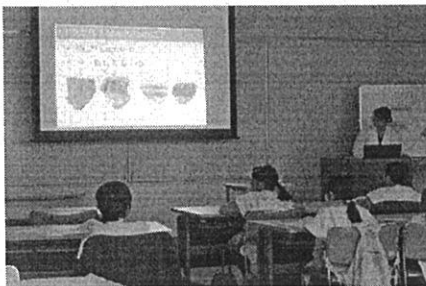
### 縄文土器をつくろう(活動場所 中会議室)

#### 1 活動開始前



早めに来た部員は、石を使ってどんぐりの鬼皮むきを体験した。大小さまざまな石を用意し、どんな道具があればむきやすいか考えさせた。最初は、一つの石を使ってむいていたが、石を2個使って割るとむきやすいことを発見し、だんだん上手にむけるようになった。

#### 2 考古学の話「土器の話」



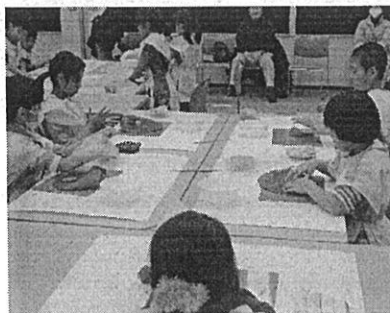
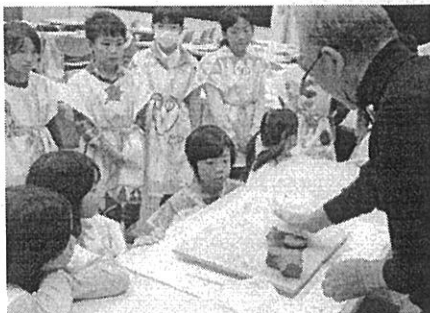
映像を使った講話



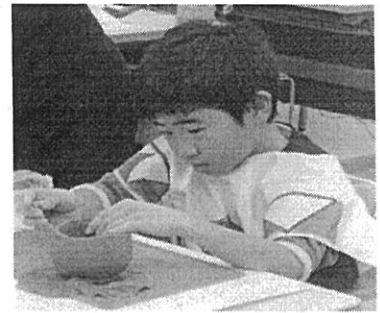
実物を示しての講話

文化財係職員岩橋による「土器の話」。土器に付着している炭の分析により当時の食糧事情を知ることができること、土器の出現が食生活に大きな変化をもたらしたことを伝えた。

#### 3 体験活動「土器を作ろう」





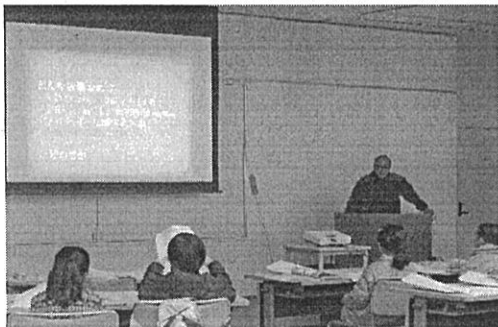


陶芸同好会の香川氏の指導により「輪積み技法」を使って土器を作った。縄文時代の土器づくりに近づけるため、下に葉っぱを敷き、粘土でひもを作って積み上げていった。仕上げは、原体（木や縄などで模様をつける道具）を使って模様をつけ、世界に一つしかない土器を作りあげた。スプーンやはしを作った部員もいた。作品は乾燥させ窯で焼いて、第4回の「古代食クッキング」で実際に器として使用した。

### 第3回 平成 29 年 12 月 23 日（土）

船原古墳を探検しよう（活動場所 中会議室・船原古墳・グリーンパーク・みあけ史跡公園）

#### 1 考古学の話「船原古墳と古賀市の重要遺跡」



文化財係森下係長による「船原古墳と古賀市の重要遺跡」の話。船原古墳出土遺物の豪華さ、高度な技術力などについて説明を受け、古墳の主がどのような立場の人であったのかを想像することができた。また、市内には船原古墳以外にも重要な遺跡があることも知らせ、参加者に現地見学への予備知識をもたせた。

#### 2 体験活動「現地見学：船原古墳→馬渡・束ヶ浦遺跡→鹿部田淵遺跡」

##### (1) 船原古墳の現地見学



##### 現地見学参加者

・考古学部員	15 人
・保護者	8 人
・職員	3 人
合計	26 人

船原古墳の現地は現在、駐車場の工事中であるが、古墳の大きさ、埋納土坑の位置などは確認することができた。

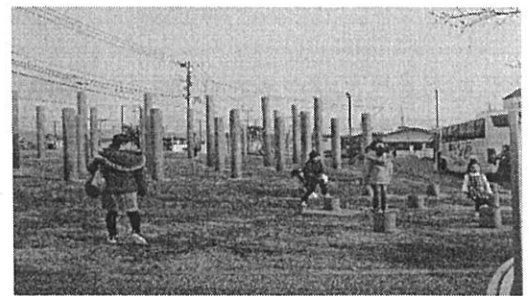
(2) 馬渡・東ヶ浦遺跡(グリーンパーク内)に残る、古墳の見学



馬渡・東ヶ浦遺跡は現在グリーンパークになっているが、縄文時代からの住居跡や弥生時代の甕棺墓・住居跡、古墳も発見されている。参加者は遊びに来ることはあっても、古墳の存在などに関心を持つことはないが、山を切り開いた後に、古墳が存在していることに興味津々であった。

(3) 鹿部田淵遺跡(現在みあけ史跡公園)

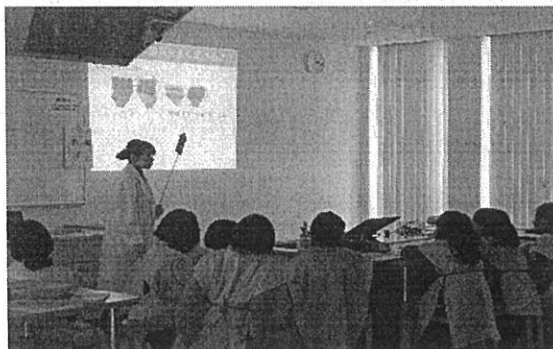
鹿部田淵遺跡は現在みあけ史跡公園になっている。ここからは、大型建物群が発掘され、当時の様子を再現するために、柱が建てられ公園化されている。公園内に設置されている案内板を見ながら、森下係長の話聞いた。部員の中には、いつも見ている公園にこのような歴史があり、柱の意味が分かるとイメージが浮かんできたとの感想を持つ子もいた。



第4回 平成30年1月27日(土)

古代食を作ろう (活動場所 リーバズプラザこが 調理室・調理室前テラス)

1 考古学の話「古代食の話：縄文時代・弥生時代の人はどんなものを食べていたの？」



文化財係職員岩橋による「古代食」の話。遺跡に残る土器や貯蔵穴、貝塚などから、当時の人々の食生活がわかること。また食料を手に入れるための道具(弓・釣り針)や方法の工夫を通して、古代の人々の生きていくための知恵を学ぶことができた。具体的な事例をもとに話してもらったことで当日の献立の意味につなげることができた。

## 2 体験活動「古代食クッキング・古代体験（火おこし・石器で切る・どんぐりをすりつぶす）」

### ① どんぐりクッキーづくり

- ・5人分の分量をグループ代表が混ぜる。
- ・グループの分を係員で5等分する。
- ・一人分をさらに5等分し、直径2cmほどの球を作る
- ・鉄板に1～5の番号をかいたクッキングシートを置き、その上に球をおいて5mmほどにつぶす。（厚みをそろえる）
- ・オーブンで焼く（160度で10～12分）

#### 1グループ（5人）分の分量

・どんぐり粉	40g
・小麦粉	140g
・バター	70g
・たまご	30g
・砂糖	60g

### ② 古代体験（火おこし・石器で切る・どんぐりをすりつぶす）

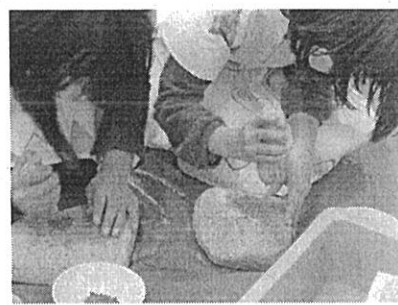
火おこし体験



石器で切る体験



どんぐりをすりつぶす体験



どんぐりクッキーを焼いている間に「火おこし」「石器で切る」「どんぐりをすりつぶす」の3つの体験を実施した。時間が少なく1つの体験が5分ほどだったので、もっとやりたかったとの感想が聞かれた。「火おこし」体験は、火気厳禁の為、本格的に火をおこすことはできないことを残念がっていた。

### ③ 古代食の試食

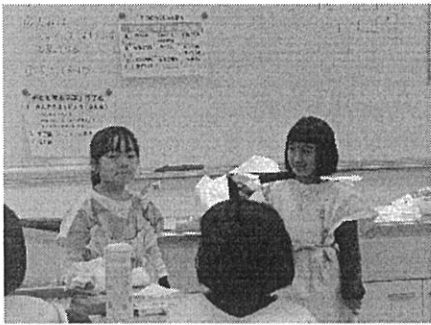


どんぐりクッキー5個（自分が作った分）、古代米（赤米・黒米）を入れて炊いたご飯のおにぎり2個、古代スープ（自分で作った土器を使って）を試食した。スープは多めに作っていたのでおかわりする子もいた。なかなかおいしいと評判であった。

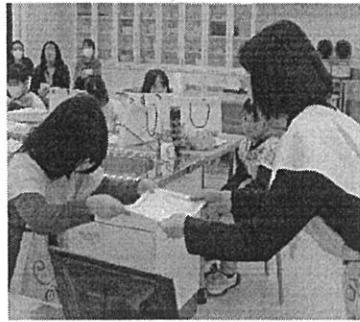


### 3 子ども考古学部修了式

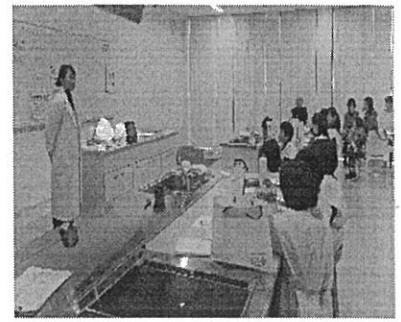
#### ① 感想発表



#### ② 修了証渡し



#### ③ まとめ



感想発表では4回の活動で学んだこと、心に残ったこと、もっとしてみたかったことなどを全員に話してもらった。一人一人がしっかりと考古学の話聞き、体験を通して歴史への関心を高めていることが分かる内容であった。修了証と写真入りフォトフレームを記念として渡し、第2回講師の香川氏、文化財係の岩橋、歴史資料館館長木村より一言感想を伝えて終了した。

平成30年度  
歴史資料館要覧

2018(平成30)年10月 発行  
〒811-3103 福岡県古賀市中央二丁目13番1号

**古賀市立歴史資料館**

TEL 092(944)6214  
FAX 092(944)6215